

評価会議（令和元年度期末）における委員の評価及び意見

受託者等に対する評価

1 項目ごと評価

| 評価項目 | | A委員 | B委員 | C委員 | |
|-------------|-----------------------------------|--|-----|-----|---|
| 支援の内容および効果等 | 協議会の取組 （イメージ） 自律的運営に向けた地域活動 | (1)「地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 （配点5点） | 3 | 4 | 4 |
| | | (2)「つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 （配点5点） | 4 | 4 | 5 |
| | | (3)「組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等 （配点5点） | 4 | 3 | 4 |
| | 事業の実施体制等 | (1)自由提案による地域支援の状況（実績）及び効果等 （配点5点） | — | — | — |
| | | (2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等 （配点5点） | 4 | 3 | 4 |
| | | (2-2)フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等 （配点5点） | 3 | 3 | 4 |
| | | (3)区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等 （配点5点） | — | — | — |
| | 策（取組） 今年度の重点支援 | 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援状況（実績）及び効果等 （配点5点） | 4 | 4 | 4 |

主な意見等

- ・人材発掘は事業の革新と新規開発以外には困難と思う。その意味で画一性からの脱出を。
- ・役員層と若年層の交流会だけで展望が開けるだろうか。企業への呼びかけは評価したい。
- ・アンケート結果の乖離指数のみをみると、担い手不足と財源不足に収斂するのは、余りにも平凡な結果である。設問と分析が工夫不足と思う。とはいえ、データを求める姿勢は評価する。
- ・カルテを地域に説明したり、スタッフのアンケートを取ったりする姿勢は高く評価できるがカルテの分析軸は再考したほうがいい。
- ・企業とのマッチングや、役員（年配者）と若手の交流会など、工夫が伺える。成功事例は水平展開をお願いしたい。

- ・会計や運営に関するマニュアルを作成し、全体のレベル向上をはかったのは評価できる。
- ・企業等とのマッチングに努力している点は評価できる（回収率が低いのは問題だが）連携協働の際、Win-Winの関係ができる提案を、まちセンとして心がけていただきたい（奉仕だけでは長続きしないので）。
また今回は回答してくれなかった事業所にも引き続き（連携事例の紹介とともに）アプローチされると良いと思う。
- ・地域活動に関するアンケートについては、結果の分析とその分析をもって次にどう活用するのかを考えて頂きたい。
また、このアンケート手法で良かったのか、（設問設定等）を考え改善を実施して頂きたい。
「(1) 地域活動」と「(2) 地域活動実施にあたっての課題」に大別されると思うので、2段階でアンケートを実施して頂きたい。
 - (1) 地域活動
1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 12
 - (2) 課題
8, 9, 10, 11, 13
- ・企業マッチング事業についてはマッチングしたい企業をピックアップの上、より具体的なマッチング事業の内容をイメージしながらアプローチを行って頂きたい。

(採点基準)

- 5点：期待レベルをはるかに上回っている。
- 4点：期待レベルを上回っている。
- 3点：概ね期待レベルに達している。
- 2点：期待レベルを下回っている。
- 1点：期待レベルに全く達していない。